

浪合村誌 上卷 目

目次

序 村 口 村

浪合村誌編纂について

第一編 自然環境

第一章 滄合村の位置・面積	三
第一節 村の境界	
第二節 村の面積	七
第三節 村の位置	一〇
第二章 地形	
第一節 伊那谷の地形概観	六

第三節	下伊那西南部地域の地形	一四二
第四節	浪合村の地形	一四三
第五節	浪合村の山崩れ	一四七
第三章	浪合村の地質	一五三
第一節	下伊那の地質の概観	一五五
第二節	郡西部での地質	一五六
第三節	浪合に分布する地質	一五六
第四節	浪合の地質のまとめ	一五六
第五節	母なる大地としての土壤	一六一
第四章	気候	一六七
第一節	内陸性高地での気候	一七八
第二節	凌ぎ易い夏と、寒くて長い冬	一七八
第三節	降雨・雷雨の多い浪合	一八〇

第四節 長い降積雪期間	六九	第六節 浪合村の蝶相	一六六
第五節 穏やかな風	七五		
第六節 降霜期間の長い浪合	二〇		
第七節 高地性の山間地で湿度は高い	二三		
第八節 季節の現象（浪合の四季）	二五		
第五章 浪合村の植物	二〇		
第一節 浪合村の植生	二〇		
第二節 浪合村の植物分布	二三		
第三節 浪合村の森林土壤	二四		
第四節 帰化植物	二五		
第五節 浪合村の山菜	二六		
第六章 村の動物	二七		
第一節 春椎動物	二八		
第二節 節足動物	二九		
第三節 軟体動物	二九		
第四節 環形動物	二九		
第五節 四形動物	二九		
	一七	第二編 考 古 代	
	一七	第一章 原始社会	一七
	一七	序 説	一七
	一七	第一節 人類の誕生と日本列島	一七
	一七	第二節 採取生活の展開—縄文時代—	三〇
	一七	第三節 農耕社会の展開—弥生時代—	三〇
	一七	—旧石器時代—	八三
	二九	序 説	二九
	二九	第一章 古代前期	二九
	二九	第一節 大和国家の成立と発展	二九
	二九	第二節 大和朝政権勢力の東漸と伊那郡	二九
	二九	第三節 伊那郡郡衙と伊那郡大領	二九
	二九	第二章 古代後期	二九
	二九		

第一節 律令政治の刷新と地方	二八九
第二節 下伊那の莊園と伊賀良庄	二九五
第三章 中世前期	三〇〇
第一節 武家政權の成立と伊那郡	三〇一
第二節 公武の対立と鎌倉幕府の滅亡	三三三
第三節 農村社会と農民の生活	三四四
第四章 中世中期	三七七
第一節 建武新政と地方	三八八
第二節 小笠原氏と伊那郡	三三三
第三節 南北両朝の対立と伊那郡	三六六
第四節 東国南朝の基地大河原	三八八
第五節 浪合戦と浪合戦死の宮	三四四
第六節 浪合神社と御祭神宮尹良親王	三四六
第七節 尹良親王御陵墓と関係遺蹟	三五三
第八節 小笠原氏と大塔戦及び伊那郡の諸族	三五六
第九節 傳念墓と関係傳説地	三五六

第十節 結城の戦と小笠原氏及び 伊那郡の諸族

三九五

第一節 京都理性院巖助の来伊と浪合	三九一
-------------------	-----

第二節 中世郷村制と社会	三九六
--------------	-----

第五章 中世後期

第一節 武田氏の伊那郡経略	三九九
---------------	-----

第二節 信玄西上の途につく	四〇八
---------------	-----

第三節 信玄の死と武田氏の衰勢	四一七
-----------------	-----

第四節 織田氏の甲信攻略と武田氏の滅亡	四二七
---------------------	-----

第五節 織田信長と浪合	四七三
-------------	-----

第六節 戰後の処理と信長の死	四七五
----------------	-----

第七節 秀吉政權の基礎と太閤検地	四七七
------------------	-----

第四編 近世

第一章 下伊那地方近世史における

浪合村の位置

二八三

第二章 支配関係の変遷	二八五
-------------	-----

第三章 近世初期の支配形態と村	元一
第一節 波合村における近世村落の成立	元一
第二節 土地制度	元四
第三節 貢租・課役	元九
第四章 近世中期以後の支配形態と村	四九
第一節 新田開発と貢租	四〇
第二節 戸口・家族構成	四六
第三節 村役人と五人組	四九
第四節 農民階層	四九
第五章 山林の利用と山論	四五
第一節 近世の山の利用形態	四五
第二節 波合村における入会山の利用	四〇
第三節 山論	四五
第四節 木地師の入山	四五
第六章 用水井と井普請	四六
第七章 波合関と波合宿	六五
第一節 伊那往還と関所・宿駅の設置	六五
第二節 波合関の位置の変遷	四七一
第三節 知久氏の関所支配	四七八
第四節 通行手形と江戸時代の旅	四九一
第五節 波合宿	四九四
第六節 商品流通と中馬宿	五〇
第八章 農業とその他の産業	五一
第九章 災害・騒動	五五
第一節 因作・飢饉	五五
第二節 水害と川除普請	五六
第三節 村方騒動	五五
第十章 寺院・神社	五三
第一節 浪合神社	五三
第二節 堯翁院	五六